

平成 28 年 9 月 17 日（土） 伯太校区 参加者 45 名

### 【地域の課題】

市民：昨年は 2 つ課題を挙げた。1 点目が隣町との境について。2 点目が防犯カメラのランニングコストの削減について、本年度は町会の未加入について挙げた。前年、当校区のみならず、市全体で伯太町連合町会として 28 年 4 月に町会加入についてのお願いのパンフレットを作り、主要活動としてこういうことをしていますと、新しい土地が立ちましたらお話をさせていただき、町会に入ってもらような活動をしている。

1 点目、防犯灯の施設の設置。消火器の設備の維持管理、2 点目、防犯夜警による夜間犯罪、子ども達への防犯、犯罪防止活動、3 点目、毎日の学童の通学見守りと交通安全指導、4 点目、子どもをはじめとして町内の皆様の懇親の盆踊り大会、5 点目、伯太神社での町内カラオケ大会の協力、秋まつり、だんじりの協力、地域の清掃活動。有線放送による葬儀案内、町内の緊急事態の情報提供。8 点目、伯太町会運営ための連絡打ち合わせ準備等総務事務活動、9 点目、各種団体の会議のための伯太会館の消耗品維持管理、10 点目高齢者の健康福祉活動の為の交流会館の維持管理の協力、11 点目、各団体活動への補助金支給や保険の加入。12 点目、高齢者への慰労会、配食等その他の活動の助成、13 点目、広報紙の配布。町会がこういうことやってますので、ぜひとも入って下さいと言うことを新しい所へ言っている。

市長：おっしゃる通りで、我々も町会加入率が減っていると危惧している。平成 18 年に和泉市全体で 70%、今年度 28 年度は 59%。町会というのは地域コミュニティの核で、防災、防犯、認知症の徘徊等、地域のコミュニティがあればこそ対策できる。こんな話がある。地震や災害の時一番誰が助けられにくいのかというと、地域で好かれている人は、「あの人がいない」とわかる。では嫌われている人が助けられないのかというと、それよりも「地域でいるのかいないのかわからない人」が助けられないという事例もあり、地域のコミュニティが災害時の助け合いの一番のベースになる。

町会の見回りや地域の子どもが安心して通学できるのは、見守り隊の方や青色パトロールカーのお陰。伯太の町会は非常に積極的に加入を勧めて頂いている。70%位か。新興住宅が町会に入っていないかと言うとそんなことはない。光明台南校区のみずき台には、800 件位有るのですが、ここの加入率は 100%。開発業者が町会への加入を条件として分譲した。そういう取り組みが必要で、宅建協会にご協力頂いて、分譲するとき町会加入を条件として行って頂いている。しかし強制ができないので、地道な活動が実っていくのかなど。和泉市の町会連合会、町会・自治会加入促進議会を立ち上げて、情報公開等、先進市の事例を参考にしながら少しずつ地道に進めていく。入っていないところには広報紙をあげなければいいとか、入ったらゴミ袋を上げればいいといったご意見もあるが、我々としては地道な努力を続けて

いくのが一番地域に根差した結果を生み出せるのではないかと思っている。泉佐野市は町会に加入すればゴミ袋を配布しているが、問題もある。認識をしっかりとしながら町会加入率を上げていきたいと思う。

市民：今市長が説明されたように、当伯太町の新興住宅においても住宅メーカーについてはできるだけ町会加入してもらおうようにやって頂いているが、一番苦勞するのは、町会の組織とは、役員、町議員、班長、各住戸にいきわたるという組織だが、その中で高齢のご夫婦若しくは一人住まいの方が班長になられたら、広報を配ることができないから、そういう役にはあたりたくない。町会には町会費を払って入るから。班長になったら私自身困るんでどうにかしてほしいとか、体力的に体が動かないとか。そういう高齢の方のお悩みを聞いたとき頭が痛い。どうしたらいいか町会の役として悩んでいる。

市長：そうですね。役員の後継者不足というのが大きな課題。やれる人がやるしかないかと。

市民：班長は順番に回っていくと。飛ばして頂けるならいいが、順番に自分が当たっているのにもかかわらずできないというのはどうしよう、という気持ちがわかるだけに町会長としてどう対応したらいいか。

#### 【市長との意見交換】

市民：今まで市長からの良い話が多々あったんが、市役所もだいぶ景気が良くなったんだなと感じる。ただし、ここに集まっているのはほとんど 65 歳以上で、我々高齢者について、これから市としてどんなありがたい話があるのかということをお聞きしたい。市長からそういう話は全然出ない。やはり高齢者は冷遇されているのかなと。今後優遇策を考えてとっていただくのかお聞きしたい。節目にお金とか記念品とか出していたが、この前から箸一本とかタオル一個とかになったと。この辺はどう考えているのかお聞かせ願いたい。

市長：敬老祝い金ということで、今でも節目支給はしている。全国的には敬老祝い金は廃止している所がほとんど。和泉市では 2 つの目的がある。高齢者が今まで和泉市をしっかり支えてくれたからということに感謝の気持ちを表してと言うことが一つ、もう一つは高齢者の安否確認。高齢者の家庭が多い。今 65 歳以上の方が一人住まいのところは 5,500 世帯位か。和泉市が 73,000 世帯位だから、15 件に 1 件位で、その中で 13 件に 1 件が 2 人とも高齢者住まい、そういう所に安否確認することが 2 つ目の目的である。

もちろんお金の方がありがたいと思うが、お金の場合は、民生児童委員が本人にお渡ししないといけない。暑い時期 8~9 月、2 回も 3 回も足を運んで頂いて、本人に直接お渡し頂くというのも、民生児童委員さんからも、もう違うものにしたらどうかと言うご意見いただいた中で、外部評価委員からも意見を頂いて、そういう状態だったら祝い金は廃止として、違う形でやったらどうかと。しかしずっと続けた

いという気持ちがあったので、節目支給に戻すのをやめて、高齢祝い品に代えさせて頂いた。感謝の気持ちと、安否確認をしていこうと替えさせていただいた。お金の方がいいという方もおられると思うが、これでも非常に喜んで頂いている。高齢者の方に何も考えていないと言われますが、福祉の中で、国全体で 80%が高齢者の方々になっている。子育て支援は本当に一部で、事業費とか介護保険、とかいろんな点で高齢者福祉が一番手厚くなっている。ところがそれがあまりわからないので高齢者に冷たいと思われる。今まで子育てには力入れていなかったのと、障がい者の方の福祉もあまり手厚くないので、そちらもやっといこうと。決して高齢者の福祉に対してあまりやっていないということはない。病院についても新しい病院を立てていますが、大半の方が高齢者で、高齢者施策の一環として解釈していただければ。最近の新聞では、子育てのしやすい町とか、そういうのも私も大切と思いますが、私も 57 歳でもうすぐ高齢者の仲間入りですが、高齢者の住み良いまちにしたい。他所から人を入れるために家賃保証する自治体もあるそうですが、今和泉市に住んでいる人が、家族もそのこどもも、ずっといつまでも和泉市に住んでいただきたいと、そんなまちにするのが一番大切と思っている。そういうまちなら、和泉市でこどもを産んで育てようという気持ちもわいてくると思う。高齢者に優しくないまち、そんな街に住みたくないですね。引っ越していこうと言う気持ちになる。高齢者の福祉や事業をおろそかにすることのないよう、やっていきたいと思う。ご意見ありがとうございました。

それと信太山駅について、おっしゃる通り代わり映えしないが、いよいよ話を進めていて、府中駅は 15 年くらいで大分新しくなったが、北信太駅もバリアフリー化で西口ができた。そこにエレベータをつける話も進めている。JR とも話を進めていて、JR も阪和線沿線で信太山駅は利用者が多い方なので、バリアフリー化したいということで西口を作ろうと検討している。西口をつくらうとすると、右のスロープを作って、駅の西口から西側からも入れるようにと計画している。信太山の話も進めている。近々おもてだつて報告できると思う。

市民： 4 年前にタウンミーティングで発言して、その後どういう対応をしていただいたかを確認したい。前奈池公園専用グラウンドを使わせて頂き、非常に助かっている。色々なクラブが工事の関係で場所探しに苦労しており、当クラブはほぼ専用グラウンドになって、使わせてもらっている。最近公園の大木の根っこが敷き石を持ち上げて 6 月頃、年寄ですから足が上がらないで 2 人が転んで、幸いけがにはありませんでしたが、即、市の公園課の方へ直接行き 2 か月後には完全に直していただいた。ありがとうございました。

もう 1 点、ゴミ置きの大きなゴミボックスがあったんですが、モラルの悪い人が、一杯になって横に置いて帰る。カラスがつついて 6 回連続でゴミ袋を破って、散乱していた。掃除させて頂いているので片づけたが、ゴミ箱を撤去してなくしたらな

くなると。グラウンドのゴミ箱撤去していただいたら、全部ではないがなくなりました。ありがとうございました。

要望ですが、4年前、タバコの吸い殻を捨てられていると言った。屋根のある休憩所が3か所ほどあり、そのベンチの足元に50本以上捨てられている。前の駐車場にも捨てられている。それと伯太町の主要な道路、小栗街道等、私は毎日通るが4年前とタバコのポイ捨ては変わっていない。これ以上悪く言いたくないが具体的な例を言うと、去年参議院選挙で中谷防衛大臣が来られ、当然私服警官が立っていたが、そこへ町会の役員がタバコを吸いながら来て、私の前でタバコポイ捨てした。それと信太駅からきた軽トラが窓から火のついたタバコポイ捨てした。交番に取り締まれないかと聞いたら、直接見ていないので注意できないとのこと。吹田市では、今年の4月から歩きたばこ禁止と、取り締まる方を市で選んでパトロールして、見つかったら罰金を取るとのこと。大阪市、京都市、堺市は早くからやっています。吹田市は和泉市と比べてそんなに大きな市ではないと思う。歩きたばこ、ポイ捨てを取り締まるために、財政も大変だと思うが、取締りをできたらやって頂きたい。4年前に話しましたが変わっていない。

市長：和泉市でポイ捨て条例を3年前位に作った。ゴミ、動物のペットの糞の放置の条例です。気運を高めていくことで、一番はモラルの問題ですが、モラルが改善していないといけない。タバコのポイ捨てが一番多い。和泉市では5つの駅であいさつ運動をしているが、それと同時に駅の回りのゴミの清掃活動を職員がしている。信太山駅なら10人位の管理職が11日に、朝に出て、5人が駅の掃除をする。私も駅で新聞を配っているが、必ずゴミを拾う。和泉中央駅は朝、ゴミだらけ。先ほどおっしゃった堺市と大阪市では、堺市の場合、堺東周辺を場所指定して、警察OB等に協力いただき、千円か二千円、罰金を取る。すると一気にタバコのポイ捨てがなくなった。和泉市でもそれは検討しているが、まだ条例を作って何年間か取り組んできたが、一気にそういうことをするのではなく、徐々にゴミのポイ捨て等をなくしていこうという気運を盛り上げていく中で、順序に追ってやっていこうと。検討していないのではなく、検討している。効果があるとわかっている。

市民：よろしくをお願いします。

市民：役所への要望だが、町会加入で、確認申請を出す時必ず町会に連絡をくれるようにお願いする。そうしたら1件でも入る。

市長：確認申請といって、住宅を建てる時に役所に申請します。町会にあそこに家を建てられますよと言うことを情報提供するということで、個人情報保護の部分で法令等に抵触したら難しい部分もあるので、調べたい。

市民：開発の場合は皆出している。

市長：情報公開を提供されたら出せるかわからないが、市が勝手にやるということは、ひよっとしたら個人情報保護条例に抵触するか、その辺を調べさせてもらう。

市民：この前、議会に傍聴にいったとき、和泉市で市営住宅の家賃を1億滞納と聞いた。  
あのお金はどうなってるのか。

市長：どの金額の事を言っておられるのか。滞納額と言うのは、全く納める見込みのない人もいる。どこにいるかわからないとか、亡くなった人は、滞納額がたまって納めてくれない。不納欠損ですね。今実際に住んでいて滞納している人については請求して、納めてくれなかったら出て行ってもらっている。今までは出て行ってもらうことはしてなかった。それからも請求する。今、半年滞納の人は払うか、そこから出ていくかしてもらっている。払えないのか払わないのか、生活保護が出てくる人は、家賃払えるのに払わない、そういう人は出て行ってもらう。お金がなくて払えない人は分割でも払ってくれるので、そういう人は住んで頂いて、居場所がわからないとか亡くなって請求できない等、そういう人の分を整理しています。

市民：市営住宅の件だが、幸、信太、伯太、繁和など、市として市営住宅に対する心構えというか対応ですが、住宅センター自身が家賃だけにしか気がいってないというか、維持管理も大変ですが、耐用年数過ぎているのではないかと思う。耳に挟んだのが建替え計画されてようで、いつ頃か。

市長：場所はどちらですか。

市民：伯太のこの裏。町会館のところ。

市長：計画は具体的な時期はわからないが、市営住宅の建替え計画はある。今は唐国住宅の建て替え、木造なので。時期についてはまた調べるが、市営住宅は2,200戸位のうち1,700位、7割～8割近くが幸地区、改良住宅に集まっている。建て替え計画はある。

市：いまその計画の見直しをかけており、唐国については進んでいるが、他については見直しをやっているところ。

市民：和泉市では野焼きは、どうなのか。和泉市での条例ではどうか。

市長：条例でなく法律ではないか。

市民：取締りはやっているか？

市長：やっている。通報がほとんど。

市民：環境課に言ってもらちがあかない。

市長：パトロールしてるわけではない。

市民：住民からの通報で現場おさえないと注意できない。

市長：現場抑えても変えてくれる人は少ない。指導しているということ。

市民：公園のところの自衛隊の所の交差点だが、私、子育て教育の指導員やっている。こっちに住んでから浅いけど、あの辺の整備とか考えてほしい。

市長：どういう整備か。

市民：交差点のつくり。熊野古道か小栗街道の向こうの公園ありますね。自衛隊の交差点行くとところのカーブの見通しが悪い。公園と道路とをうまく整備して、公園前の所、

祭りのときだんじりの看板建てたり、集まりの場所として利用されているが、あの辺の区画をもう少し安全な交差点にしてもらえるよう考えて頂きたい。

市長：すべてああいう所は特に何かないかぎり整備ということはないでしょうね。

市民：事故が起こらない限りというか。結構そういう道路が和泉市に多い。都市計画、道路整備はなかなかならないと思います。そういうことをちょっと言いたかった。それと、もう一つ自治会のマイク、私ら団地に住んでいる者にとってはものすごく響くんです。何を言っているかわからない。

市長：マイクについては、和泉市が防災無線、スピーカーをつけている。これも聞こえづらいと言われるが、全国どこでも同じ。放送があったら何か知らせてるなど考えてもらい、町会に何の放送か問い合わせしてもらうしかない。そのためのマイクということで、雨の日、風の日も聞こえづらい。何か鳴ってるな、何かサイン出してるなど解釈して頂いて、市の広報からの情報発信に問い合わせる。そういう使い方をするのが防犯の全国的な考え方。

市民：防犯カメラですが、市としては防犯灯の方に力入れていると聞いているが、防犯カメラはどうか。

市長：防犯灯はもうすべて LED 化していて、全市で約 13,000 余りあるが、すべての防犯灯を LED 化し電気代を安くしている。防犯カメラは防犯に非常に効果があるとわかっていて、積極的に設置を進めている。その維持管理費も市の方で何とかならないか、ということで維持管理も市の方でやっていくということに今年度からなった。防犯カメラをできるだけ沢山つけさせて頂くよう進めさせて頂いている。

市民：30L のゴミ袋作ってもらえないか。

市長：今日 3 か所目のタウンミーティングで、他からもご要望いただいて、私もそう感じている。入札で一度に発注する。次に発注するときは 30L も作ってこうと進めている。5L はいらないのじゃないかという意見もあるが、ご高齢の方の 1 人住まいなら、ゴミがたまらないので、そういうお宅には必要だということで、次回は 5L、10L、20L、30L、45L と。もっと大きい 75L 業務用のがいるというご意見もあるが、我々はゴミ袋を有料化したのはゴミの減量化に取り組んでいるため、あまり大きなゴミ袋で、ゴミたくさん出してくださいという印象を作ってもいけない。市民の負担も少なくなるんですね。泉北環境というところでゴミを処理してもらっているのだが、そのランニングコストは職員さんもいて、年間で約 30 億円の費用が必要だが、ゴミの搬入量に応じて 3 市、泉大津市、高石市、和泉市で分けている。多く出したところがそれだけ多く払うということで、市の税金の投入も少なくなるので、できるだけゴミの減量化にはしっかりと取り組んでいきたいと思う。30L のゴミ袋の作成は検討している。